

## 【家庭数配布】

都留文科大学附属小学校・学校だより

第7号 H30.9.25

# 校長室の窓辺より

都留市大野396 電話 0554(43)2336

校長 深澤 秀興

## 実りの秋

9月16日日曜日。1日雨で順延となりました運動会を、保護者・地域の皆様方に声援を頂く中、開催することができました。有難うございました。

学校にとりまして、運動会は、入学式、卒業式に次ぐ大きな行事であり、概ね2週間にわたる運動会に向けての取組の成果を発表する、重要な学習発表の場でもありますので、演技・競技、係活動等においてその成果を十分に発揮することができ、とてもよかったと思っています。

さて、裏面の「10月の主な予定」を御覧頂きたいと思います。平成30年度もいよいよ後半を迎え、道徳の授業参観、学校林等をフィールドにした自然観察学習、北欧留学生を招いての3日間にわたる国際理解教育の実施。更にはこの他、図画大会への取組等々、盛りだくさんの学習を予定しています。正しく、子どもたちの学習は、実りの秋を迎えようとしています。

一方、日の入りも早まって参ります。保護者、地域の皆様方におかれましては、引き続き子どもたちを見守り頂きますと共に、学校に対しましても、変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

なお、道徳の授業参観は、地域の方々にも公開いたします。**保護者以外で授業参観を御希望なされる方は、教頭宛 [43-2336] まで、御連絡ください。詳細を、お伝えします。**

## 自分を創る原体験・原風景

学校には、学校評議員の方々、開地地区町作り推進会荻窪会長様、市議会議員の奥脇様、スクールガードリーダーの武藤様、都留文科大学の福田学長様等々が折々にお訪ねくださり、学校経営を行っていく上で大変示唆に富む知恵や情報を、私に授けてくださいます。



過日も、インドからの留学生を本校に招いてくださる件でお越しになった南都留森林組合の組合長杉本光男様と、「子どもの時期には、自分をつくる原体験をいろいろ積ませることと、故郷の原風景ともいえる風景に出会わせることが大切だ」といったお話で大いに盛り上がりました。

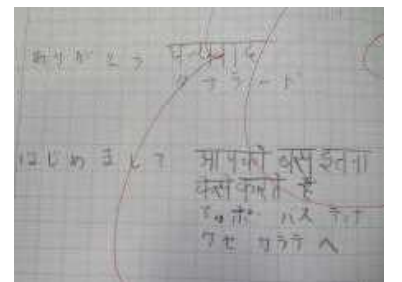
## 【附属小ならではの原体験 1】

文大附属小には、ムササビが住む裏山とイイ松ぼっくりが沢山ある学校林があり、豊かな自然体験活動を子どもたちに積ませることができます。子どもたちの、この生き生きとした活動の様子については、第4号でお伝えしたところでもあります。昭和町という山の無いところで生まれ育った私には、この文大附属小の自然環境は、子どもたちに自然との触れあいを体験させるフィールドとして、垂涎の地であります。いよいよ、山里の秋を、目と耳と鼻、そして心で感じる自然体験学習がスタートします。足下、目の前の自然が教科書になります。頭と心に刻む素敵な学習を体験して欲しいです。



## 【附属小ならではの原体験 2】

過日、北都留森林組合のご依頼により、本市に訪問中のインドの大学生15名を受け入れ、5・6年生との国際交流授業を実施しました。前日に、インドの予習を1時間実施し、当日に備えました。本時では、カスタ制度やインドの食文化を知る貴重な時間がもて、とても有意義な授業となりました。それにもまして、日印の参加者を驚かせたことがありました。それは、前日の授業を受け、6年生の長谷川慧君が自主学習でインドの公用語であるヒンディー語を調べ、インドの文字で挨拶を書き写してきたことでした。その美しい文字に、インドの学生は驚き、長谷川君に皆で拍手を贈るシーンがありました。なお、1年の佐藤真友里さんのお父様が通訳をしてくださいました。



私は、このような国際理解、異文化理解の種を子どもたちに、積極的に蒔いていきたいと考えています。幸いにも、今年度から本校は、都留文科大学が行っているデンマーク、フィンランド、スウェーデンとの交換留学制度に協力する形で、本制度により来学している教員志望の留学生を、受け入れることになりました。(本年度は、10月・11月に各学年に、昼食を挟んで2時間受け入れ)。子どもたちには

【裏も御覧ください】

是非この機会に、世界に対する目を育てて欲しいと願っています。

### 【故郷・開地の原風景】

この開地で育った方も、そうでない方も、御自身の故郷の原風景と問われたら、どのような風景を思い起こされるでしょうか。

4年生がちょうどこの時期に国語で学ぶ教材に、新美南吉作「ごんぎつね」があります。ちなみにお話の舞台は、南吉の故郷・愛知県半田市と言われています。このお話でも、象徴的に用いられている彼岸花（ひがんばん）が、県道から本校に入る上り坂の左手、杉木立の間に、それはそれは美しく群生しています。過日は、そのあまりの美しさに、子どもたちにも心にとめて欲しく、たまたま登校してきた熊井戸団地から登校してきた子どもたちを呼び止め、皆で見入ってしまいました。

校舎を背にして、杉木立とその合間に群生する彼岸花。将来、この地を離れ、中には世界に羽ばたく子どももいると思います。是非、故郷・開地の原風景の一つに加えて欲しいと思いました。



## 九月、点描（てんびょう）



### ★低・中学年のソーラン節

演舞をリードした3・4年生の踊りは力強くキレッキレでした。腰を一生懸命下ろそうとする1・2年生の姿は、一生懸命さとほほえましさがありました。

### ★高学年の組み立てたいそう

高学年ならではの力強さとしなやかさは、参観者の心に感動を届けてくれました。



### ★平成最後の運動会

児童会長の有川藍里さんを中心に、46名の子どもたち、最後まで頑張りました。

## 10月の主な予定

- 1日（月） 清潔検査
- 8日（月） 体育の日
- 11日（木） 道徳・授業参観
- 15日（月） 委員会
- 16日（火） 陸上記録会
- 18日（木） 1・5年生自然学習 [学校林]
- 19日（金） 4年動物観察
- 22日（月） クラブ
- 24日（水） 北欧留学生訪問1
- 25日（木） 6年生自然観察 [学校林]
- 29日（月） 6年生卒業アルバム写真撮影 クラブ
- 31日（水） 北欧留学生訪問2



### ★6年生最後の運動会

あと半年で卒業していく6年生。みんなで頑張った思い出を、ずっとずう〜っと、大切にしてください。

6年生の皆様と御家族の皆様の将来に、幸せがいっぱい待っていますように！。



詠み人知らずの歌  
授与されし  
トロフィー抱く童の  
光る涙に懸命さ見る